

## 第3学年B組 総合的な学習の時間指導案

授業者 井上 駿太  
研究協力者 細川 和仁

### 1 単元名 通町商店街の「いいね!」をみつけよう

#### 2 子どもと単元

##### (1) 子どもについて

本単元で扱う通町商店街について、17人の児童が「行ったことがある」と回答し、13人の児童が「行ったことがあるかわからない」と回答した。また、行ったことがあると答えた児童の中には、下校の通り道になってはいるが、お店に入ったことはないと答える児童も見られた。

「通町商店街について知ろう」の学習では、2年生の生活科や3年生の社会科の町探検で学習した保戸野地区と比較しながら通町商店街にはどんなお店があるのか、また、商店街とは何かという課題を見だし、実際に見学をして調べた。商店街の様子について発見したことを話し合い、お店の中で売っている物やお店から香ってきた物などに目を向け、それらを「通町商店街にあるお店のいいね!」としてまとめた。通町商店街にあるお店について調べてみたい課題を自ら設定することができる一方で、見学して見つけた気付きや課題などの情報を分類して整理する活動には、まだ慣れていない。

##### (2) 単元について

前述の児童の実態から、調べたお店のよさに着目し、見学をして調べた情報を比較・分類して整理する活動を通して、通町商店街で働く人がもつ思いや願いを実感し、調べたことを商店街に来る地域の人やお家の人などに伝えようとする力を育むことができると考える。

お店の商品やまちづくりなど、通町商店街にあるお店のよさを支えるものは何か話合う活動を通して、商店街で働く人は、「商店街をよりよくしたい」「お客さんのニーズに合ったものを売りたい」などの思いや願いをもって働いていることに気付き、それを商店街に来てくれる地域の人に伝えるにはどうしたらよいか話合うなどして、「**地域を見通し、そのよさを感じながら対象に働きかける**」という資質・能力を高めていくことをねらいとして、本単元を設定した。

##### (3) 指導について

「課題の設定」では、最初の見学から通町商店街にあるお店の商品や外観、行っているキャンペーンのポスターなど、目に入った物をクラゲチャートにまとめる中で、それぞれのお店や商店街全体に関わるよさは何かという課題を設定することができるようにする。

「情報の収集」では、商店街でのインタビューを中心に行う。場合に応じて本や資料などを活用して必要な情報を集められるようにする。また、「整理・分析」「まとめ・表現」の過程で、商店街の人に聞きたいことが見つかったときは、FAXや電話で適宜聞くようにする。

「整理・分析」では、調べたお店のよさを「〇〇（お店の名前）は、～～というところがいいね!」という形で、一言で表すようにすることで、自分が大事だと思う情報や伝えたい情報に焦点を当てられるようにする。

「まとめ・表現」では、ポスターを作成するために、調べたことをランキング形式にしてまとめ、グループの中で見合う活動を通して、伝えたいこととその根拠を明確にすることができるようにすることが、本単元での学びのものさしとなる。また、それぞれのお店で伝えたいことに共通するものは何か話合う活動を通して、商店街で働く人は、それぞれが思いや願いを持って働いているということに気付き、お店で働く人の思いや願いにはどんなものがあるかという課題を作ることができるようにする。こうした学習を通して、お店のよさという概念にそこで働く人の思いや願いという新たな概念を更新できるようにする。

#### 3 単元の目標

- (1) 商店街にあるお店に着目し、お店のよさやそれを支えるお店で働く人の思いや願いに気付くことができる。 (D-b)
- (2) 商店街にあるお店のよさ着目し、根拠となる理由をもって、ランキング形式でまとめることができる。 (B-e)
- (3) 商店街で働く人の思いや願いに着目し、商店街をよりよくしようとする人たちの気持ちを考え、自分たちも地域の人に調べたことを伝えようとしている。 (C-a)

4 単元の構想

社会科 「わたしのまち みんなのまち」

時間	学習活動	教師の主な支援	評価〈本校の資質・能力との関連〉
	<b>① 通町商店街について知ろう</b>		
1 2 3 4 5	(1) これまでの町たんけんの経験から、学校周辺の地域の様子について確認する。 (2) 通町商店街について知っていることを話し合い、見学の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域について調べた経験を想起しながら、保戸野地区と通町を比較することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習や見学を通して、学習の課題を見付けようとしている。 〈A-a〉</li> </ul>
6 7 8 9	(3) 通町商店街を見学し、商店街にある店について知る。 (4) 通町商店街についての気付きや疑問から課題を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べてみたい課題を見付けることができるように、見学している中での気付きや疑問を発表し合う場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学を通して調べたいことを見付けようとしている。〈B-b〉</li> </ul>
	<b>② 通町商店街の「いいね!」を見つけよう</b>		
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	(5) 詳しく調べてみたい店を決める。 (6) 選んだ店について、グループごとの見学を通してその店のくふうを中心に調べる。 (7) 調べたことをもとにして、通町商店街のよさについて、伝えたい順にランキングをつくる。 (8) グループで伝えたいランキングを見合い、お店のよさがより伝わるものは何か、話し合う。 <b>(本時)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その店のよさとそれを支えるものに着目できるように、店のよさとその理由を並べて表に整理する活動を設定する。</li> <li>違うグループの調べたことから新たな気付きや疑問を見いだすことができるように、共通点や相違点に注目するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた情報を基に、店のよさを理由を付けて表している。 〈B-e〉</li> <li>友達とランキングを見合い、比較することでさらに調べたいことを見付けようとしている。 〈A-a〉 〈D-d〉</li> </ul>
	<b>③ 通町商店街で働く人の思いやねがいを広めよう</b>		
20 21 22	(9) 選んだ店について、見学を通して、その店で働く人の思いや願いについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く人の思いや願いに着目できるように、いいねを支える理由を考え、分類・整理する活動を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた情報を基に、店のくふうを「○○という思い」「○○というねがい」と表している。 〈B-e〉</li> </ul>
23 24	(10) 通町商店街のお店のくふうや働く人の思いや願いについて地域の人にどのように伝えるか、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合う際に地域の人にどう伝えるか考えることができるように、「商店街の人の思いや願いは何か」という視点を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街で働く人たちがどのような思いや願いをもっているか表現している。 〈B-f〉</li> </ul>
25 26	(11) 調べた店のポスターを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠を明確にして提案ができるよう、見学して聞いたことを基に提案の内容を考えるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の人の思いや願いに着目しながら、自分の提案を見直している。 〈D-a〉</li> </ul>
27 28	(12) 作成したポスターを通町商店街の人に提案する。		

29	(13) 商店街の人たちからのフィードバックを元に自分たちのポスターを見直す。	・商店街のよさが伝わる発表になるように、友達と発表を見合い、改善点を話し合う場を設ける。	・商店街で働く人の思いや願いに着目し、商店街について調べたことを伝えている。 〈D-c〉
30	(14) 自分たちの考えを発表し合う。		
31	(15) 通町商店街で働く人の思いや願いについて、これまでの活動を元に振り返る。	・学習の成果を実感できるように、最初の見学でまとめた「通町商店街のいいね!」と今の考えを比較しながら学習を振り返る場を設ける。	・商店街で働く人の、お店や商店街をよりよくしようという思いや願いに着目し、これからの自分の生活を見つめ直している。 〈C-a〉

◎ 本単元で育む主な資質・能力

商店街で働く人が思いや願いをもって働いていることに気づき、それを商店街に来てくれる地域の人に伝えるなど、自分たちの住む地域がより活性化するために自分たちにできることを考える。

(B-e, A-a, D-d)



4年生 きらり みんなの笑顔があふれるまち  
～みんなが笑顔になるためによりよいかかわり合いを求めて～

5 本時の実際

(1) ねらい 根拠の違いに着目し、自分たちの考えるお店のよさを伝えるために作成した「お店のいいね！ランキング」について話し合う活動を通して、相手に伝えたいこととその根拠を見直すことができる。

(2) 展 開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動 ・予想される児童の反応	教師の支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評 価</span>
15	<p>1 同じ店を調べた他学級にいる同じグループの友達と、作成したランキングの違いについて話し合う。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の名前には「お客さんがゆっくりしてほしい」という思いが込められているね。</li> <li>・商品だけでなく「お客さんのためにお店をきれいにしている。」というのも大切だね。</li> <li>・「お客さんが見て分かりやすい」ホームページにしていると言っていたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識を持って学習に取り組めるように、ランキングの相違点に注目し、本時の課題を設定する。</li> </ul> <p>○根拠を持って話合いに臨めるように、見学したときのメモからなぜその順位にしたのか(学びのものさし)を明確にして話し合いをするよう促す。</p>
<p>課題 「お店のいいね！ランキング」には、どんなことをのせるとよいのだろうか</p>		
10	<p>2 話し合ったことを踏まえて、自分のランキングの見直しをする。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人のこだわりが強いものを1位にしよう。</li> <li>・お客さんのことを考えているお店の人の思いもランキングに入れよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しに難儀している児童には、根拠を比較して考えたり、働く人の気持ちを想像したりして考えるよう促す。</li> <li>・見直した箇所が視覚的に見られるように、追記するときは色を変えて書くよう促す。</li> </ul>
15	<p>3 ランキングを見直した理由を全体で共有する。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人の思いがお店のいいねにつながっているね。</li> </ul>	<p>○お客さんに対する思いやお店の人がこだわる理由など新たな気付きや疑問を見いだすことができるように、順位を決める根拠となるものをキーワード化して板書する。</p>
5	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品もいいけれど、お客さんのことを考えているところをランキングの上位にしよう。</li> <li>・他のグループが言っていたお店の名前の由来もランキングに加えよう。</li> <li>・季節に合わせて商品を替えたり秋田のものを使ったりしていることにも、お店の人の思いがあるのか確かめたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの伝えたいこととその根拠を次の学習で生かせるように、シートにまとめる場を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>話合いを通して得たお店のくふうや働く人の思いや願いなどの視点に着目し、作成したランキングを見合う活動を通して、お店の人の思いや願いを根拠としてランキングを見直している。(発表・シート)</p> </div>